

2023年8月2日
茨城県

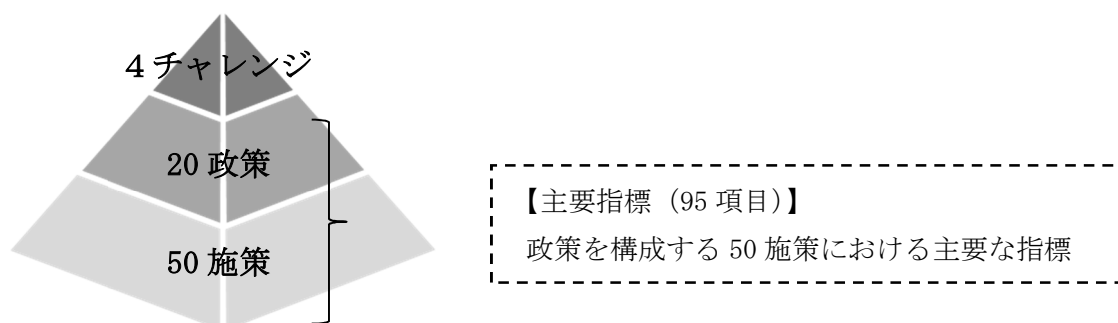
2023年度（2022年度分） 県総合計画（第3部）政策・施策に係る進捗状況について

1 政策体系と数値目標について

基本理念である「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、計画期間（2022～2025年度）に取り組む、20の「挑戦する政策」（4チャレンジ×5政策）を掲げ、具体的な施策、主な取組を整理しています。

また、政策・施策の目指すべき水準をわかりやすく示すため、合計95項目の数値目標（主要指標の目標）を設定し、政策・施策の成果等を毎年度分析・評価する基準とするとともに、施策や事業の改善にも活用します。

【政策体系及び数値目標】



2 施策の評価方法及び政策の進捗状況の区分方法について

（1）50 施策の評価




「主要指標」の達成率から、「A」「B」「C」「D」の4段階で評価します。

A 達成率 100%以上	C 達成率 50%～75%未満
B 達成率 75%～100%未満	D 達成率 50%未満

なお、一つの施策に主要指標が複数ある場合には、達成率の平均値により評価します。




（2）20 政策の進捗状況

政策を構成する施策評価結果を数値化（A:4点、B:3点、C:2点、D:1点）し、その平均値により進捗状況を「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3段階に分類します。

結果	施策評価の平均値
 「順調である」	4.0点 ～ 3.0点
 「成果をあげつつある」	2.99点 ～ 2.0点
 「取組の強化が求められる」	1.99点 ～ 1.0点

3 政策の進捗状況の結果について（総括）




- ・2022年度における20政策の進捗状況について、「順調である」が10政策、「成果をあげつつある」が9政策、「取組の強化が求められる」が1政策となります。

区分	2022
 「順調である」	10
 「成果をあげつつある」	9
 「取組の強化が求められる」	1

新しい豊かさ		
区分	2022	
 「順調である」	4	
 「成果をあげつつある」	1	
 「取組の強化が求められる」	—	

新しい安心安全		
区分	2022	
 「順調である」	—	
 「成果をあげつつある」	4	
 「取組の強化が求められる」	1	

新しい人財育成		
区分	2022	
 「順調である」	3	
 「成果をあげつつある」	2	
 「取組の強化が求められる」	—	

新しい夢・希望		
区分	2022	
 「順調である」	3	
 「成果をあげつつある」	2	
 「取組の強化が求められる」	—	

4 20 政策の進捗状況及び今後の方向性について

I 「新しい豊かさ」のチャレンジ

進捗状況	分析・対応
<p>1 質の高い雇用の創出</p> <p>順調である</p> 	<p>☆「成長分野等の企業の誘致」については期待どおりの成果をあげており、今後も成長が期待できる半導体や次世代自動車関連産業などの動向を機敏に捉えつつ、戦略的な誘致に取り組んでいく。</p> <p>☆「新たな産業用地の確保及び企業立地の加速化」についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、新たな産業用地の早期確保に取り組み、旺盛な企業の立地ニーズに対応していく。</p> <div data-bbox="347 616 1109 884" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数： 406人【期待値：340人】 ⇒ 指標評価 A ◆新規開発による産業用地の面積： 60ha【期待値：60ha】 ⇒ 指標評価 A </div>  <p>▲県が開発した 「圏央道インターパークつくばみらい」</p>
<p>2 新産業育成と中小企業等の成長</p> <p>順調である</p> 	<p>☆「先端技術を取り入れた新産業の育成と新しい産業集積づくり」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、新製品等の研究開発を行う企業に対する支援等を通じ、新たなビジネス創出を図っていく。</p> <p>☆「活力ある中小企業・小規模事業者の育成」についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、地域産業の発展に向けて、製品化・実用化につながる取組や、M&Aを活用した事業承継を推進していく。</p> <div data-bbox="347 1243 1412 1444" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆製品・技術・サービスの創出件数：16件【期待値：12件】 ⇒ 指標評価 A ◆県の支援による県内中小企業のM&Aマッチング件数： 11件【期待値：9件】 ⇒ 指標評価 A </div>
<p>3 強い農林水産業</p> <p>順調である</p> 	<p>☆「農林水産業の成長産業化と未来の担い手づくり」については期待どおりの成果をあげており、高収益作物への品目転換や農地の集積・集約による大規模化を推進し、儲かる農業の実現に取り組んでいく。</p> <p>☆「県食材の国内外への販路拡大」についても期待どおりの成果をあげており、引き続き、積極的なメディア露出等により特色ある農林水産物のブランドイメージの定着を図り、販路拡大を図っていく。</p> <div data-bbox="347 1832 1141 2116" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生産農業所得（販売農家1戸あたり）： 393万円（2021）【期待値：390万円（2021）】 ⇒ 指標評価 A ◆県産農産物のうち重点品目の販売金額： 158億円【期待値：151億円】 ⇒ 指標評価 A </div>  <p>▲重点品目（常陸牛・恵水）</p>

4 ビジット茨城～新観光創生～



成果を
あげつつ
ある

☆「稼げる観光地域の創出」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、観光資源の磨き上げや宿泊観光の促進等に取り組み、差別化された魅力ある観光地域づくり、稼げる観光地づくりを進めていく。

★「インバウンドの取り込み」については引き続き強力な取組が求められ、台湾、タイ等の重点市場へのプロモーションを強化するなど、インバウンド需要の早期回復に向けた取組を戦略的に進めていく。

【主要指標等】

◆観光消費額：
2,862億円【期待値：2,860億円】 ⇒ 指標評価 A

◆外国人延べ宿泊者数：
55,400人泊【期待値：106,000人泊】 ⇒ 指標評価 D



▲「開運茨城」による
誘客プロモーション

5 自然環境の保全・再生



順調である

☆「湖沼の水質浄化と身近な自然環境の保全」については概ね期待どおりの成果をあげており、引き続き、生活排水対策や農地・畜産対策などの浄化効果の高い事業に重点化し、湖沼の水質浄化対策を推進していく。

☆「持続可能な社会づくり」についても期待どおりの成果をあげており、引き続き、再生可能エネルギーの導入促進や関係機関等と連携したフードロスの削減への取組などに継続して取り組んでいく。

【主要指標等】

◆湖沼に流入する汚濁負荷量（COD）：
11,017t/年【期待値：10,996t/年】 ⇒ 指標評価 B

◆フードロス削減量：
30t【期待値：1.2t】 ⇒ 指標評価 A



▲フードロス削減の取組

II 「新しい安心安全」のチャレンジ

進捗状況	分析・対応
<h3>6 県民の命を守る地域保健・医療・福祉</h3>	
 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「医療・福祉人材確保対策」については期待どおりの成果をあげており、引き続き地域医療を守るため、救急、小児、周産期などの政策医療を担う医療機関の医師など、必要な人材確保に取り組んでいく。</p> <p>★「地域における保健・医療・介護提供体制の充実」については引き続き強力な取組が求められ、消防や医療機関等と連携し、救急医療体制の充実や在宅医療に取り組みやすい環境整備に取り組んでいく。</p> <p>★「精神保健対策・自殺対策」についても引き続き強力な取組が求められ、心の悩みや不安がある方が相談しやすいように多様な相談窓口を提供するとともに、窓口の周知・普及啓発を図り、相談体制の充実を図っていく。</p> <div data-bbox="347 672 1069 1097" style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の必要医師数： 7.2人【期待値：7.5人】 ⇒ 指標評価 B ◆救急要請から医療機関への搬送までに要した時間： 44.9分（2021）【期待値：42.8分（2021）】 ⇒ 指標評価 D ◆自殺者数（人口10万人あたり）： 16.9人（2021）【期待値：16.0人（2021）】 ⇒ 指標評価 D </div> <div data-bbox="1098 784 1484 1041" style="text-align: center;">  </div> <p>▲寄付講座開設に関する協定式（R5.1）</p>
<h3>7 健康長寿日本一</h3>	
 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「認知症対策の強化」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、認知症の人やその家族が日常利用している事業所等の認定等に取り組み、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる社会づくりを推進していく。</p> <p>★「がん対策」については引き続き強力な取組が求められ、市町村等との連携を一層強化するとともに、効果的な受診勧奨の方法を研究・検討し、検診受診率の向上に取り組むなど、総合的ながん対策を推進していく。</p> <div data-bbox="347 1478 1220 1736" style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆認知症の人にやさしい事業所認定数： 1,501人【期待値：1,300人】 ⇒ 指標評価 A ◆がん検診受診率（市町村国保加入者に係るもの）： 14.1%（2021）【期待値：16.4%（2021）】 ⇒ 指標評価 D </div> <div data-bbox="1252 1467 1476 1691" style="text-align: center;">  </div> <p>▲認定ステッカー</p>

8 障害のある人も暮らしやすい社会



取組の強化が求められる

- ★「障害者の自立と社会参加の促進」については引き続き強力な取組が求められ、市町村における基幹相談支援センターの設置に向けた支援など、障害者が地域社会で安心して生活できる体制づくりに取り組んでいく。
- ★「障害者の就労機会の拡大」についても引き続き強力な取組が求められ、関係機関等と連携し、企業における就労機会の創出を働きかけ、障害者雇用の増加を図っていく。

【主要指標等】

◆基幹相談支援センターの設置率：40.9%【期待値：55.0%】 ⇒ 指標評価 D

◆民間企業等における障害者雇用率：2.20%【期待値：2.22%】 ⇒ 指標評価 C

9 安心して暮らせる社会



成果をあげつつある

- ☆「地域の日常生活の維持確保とコミュニティ力の向上」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、NPO 法人と企業が相互に連携した地域貢献活動の活性化を図るなど、地域コミュニティの形成を推進していく。
- ★「安心な暮らしの確保」については引き続き強力な取組が求められ、食品の試験検査の実施及び結果の公表を継続的に実施し、食に対する不安解消を図るなど、県民の安心安全な暮らしの確保に取り組んでいく。

【主要指標等】

◆NPO 法人等と企業が連携した地域貢献活動（事業）数：30 件【期待値：10 件】 ⇒ 指標評価 A

◆食に対する不安を感じない県民の割合：53.9%【期待値：55.0%】 ⇒ 指標評価 D



▲企業連携型 NPO 活動支援事業を活用した NPO 活動の様子

10 災害・危機に強い県づくり



成果をあげつつある

- ☆「災害・危機に備えた県土整備や危機管理体制の充実強化」については概ね期待どおりの成果をあげており、引き続き国の補助制度等も活用し、優先度の高い箇所からスピード感をもって河川整備等を加速化していく。
- ★「原子力安全対策の徹底」については引き続き強力な取組が求められ、全ての原子力事業者に対し事故の未然防止対策の徹底を働きかけるなど、万が一の事故に備えた安全管理体制の構築を図っていく。

【主要指標等】

◆河川改修率：58.5%【期待値：58.4%】 ⇒ 指標評価 A

◆原子力施設における事故・故障等の発生件数ゼロ（法令報告に該当するもの）：1 件【期待値：0 件】 ⇒ 指標評価 D

Ⅲ「新しい人財育成」のチャレンジ

進捗状況	分析・対応
11 次世代を担う「人財」	
 <p>順調である</p>	<p>☆「「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、モデル校を指定した研究授業や校内研修等を通じた授業に取り組み、主体的・対話的で深い学びを推進していく。</p> <p>☆「新しい時代に求められる能力の育成」についても期待どおりの成果をあげており、引き続き、プログラミングや英語など、これからの時代に求められる能力の育成を推進していく。</p> <div data-bbox="347 521 1029 840" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる生徒の割合： 81.4%【期待値：80.4%】 ⇒ 指標評価 A ◆全国レベルの中高校生向けプログラミング・コンテストの入賞組数： 7 組【期待値：3 組】 ⇒ 指標評価 A </div> <div data-bbox="1061 521 1481 784" style="text-align: right;">  <p>▲プログラミングの特別講座を受講する受講生</p> </div>
12 魅力ある教育環境	
 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「時代の変化に対応した学校づくり」については概ね期待どおりの成果をあげており、引き続き、県内大学における特色ある教育カリキュラムづくりの促進などにより、魅力ある教育環境づくりに取り組んでいく。</p> <p>★「次世代を担う「人財」の育成と自立を支える社会づくり」については引き続き強力な取組が求められ、不登校児童生徒の学びの場の確保など、児童生徒の社会的自立に向けた適切な支援の充実に取り組んでいく。</p> <div data-bbox="347 1205 1487 1451" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆大学が実施する特色ある教育カリキュラム数：3 件【期待値：2 件】 ⇒ 指標評価 A ◆小中義務教育学校における不登校児童生徒が、学校内外の機関等での相談・指導等を受けている割合： 61.1%（2021）【期待値：78.4%（2021）】 ⇒ 指標評価 D </div>
13 日本一、子どもを産み育てやすい県	
 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆「結婚・出産の希望がかなう社会づくり」については概ね期待どおりの成果をあげており、引き続き、いばらき出会いサポートセンターのサービス向上や利用促進等により、若い世代のニーズに合わせた結婚支援を強化していく。</p> <p>★「児童虐待対策の推進と困難を抱える子どもへの支援」については引き続き強力な取組が求められ、年々増加する児童虐待に対応するため、相談体制の充実と、里親等の社会的擁護の受け皿確保を図っていく。</p> <div data-bbox="347 1818 1109 2078" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県の結婚支援事業による成婚数（2006～22 累計）： 2,631 組【期待値：2,600 組】 ⇒ 指標評価 A ◆里親等委託率： 20.3%【期待値：26.0%】 ⇒ 指標評価 D </div> <div data-bbox="1136 1792 1481 2016" style="text-align: right;">  <p>▲茨城であいバ AI スペシャルマッチングイベント（R4.11）</p> </div>

14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城



順調である

☆「生涯にわたる学びと心豊かにする文化・芸術」については期待どおりの成果をあげており、今後とも、県立図書館などの社会教育施設の利活用を促進し、生涯学習の充実を図っていく。

☆「スポーツの振興と遊びのある生活スタイル」についても期待どおりの成果をあげており、引き続き、国内外で活躍するトップアスリートの輩出に向けた県内ジュニア選手の発掘・育成など、スポーツ振興に取り組んでいく。

【主要指標等】

- ◆県立図書館の利用者数：
443,815人【期待値：431,569人】 ⇒ 指標評価 A
- ◆全国高校総合体育大会等での優勝数：
8種目【期待値：7種目】 ⇒ 指標評価 A



▲ジュニアアスリート育成事業の風景

15 自分らしく輝ける社会



順調である

☆「多様性を認め合い、一人ひとりが尊重される社会づくり」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、多様性を受容する取組とともに、関係機関等と連携した啓発活動を行い、ダイバーシティ社会を構築していく。

☆「女性が輝く社会の実現」についても期待どおりの成果をあげており、政策方針決定過程への女性の参画を促進するなど、女性が個性と能力を発揮し、あらゆる分野で活躍できる社会づくりを進めていく。

【主要指標等】

- ◆人権は大切であると感じている県民の割合：
86.3%【期待値：84.0%】 ⇒ 指標評価 A
- ◆政策方針決定過程に参画する女性の割合
(県審議会等の女性委員の割合)：
42.6%【期待値：42.5%】 ⇒ 指標評価 A



▲「いばらきダイバーシティ宣言」
(R3.7)

IV 「新しい夢・希望」のチャレンジ

進捗状況	分析・対応
16 魅力発信 No.1 プロジェクト	
 <p>順調である</p>	<p>☆「茨城の魅力」発信戦略については期待どおりの成果をあげており、引き続きテーマ・ターゲットに応じた戦略的な情報発信を行い、観光誘客や県産品のブランド化を推進していく。</p> <p>☆「県民総「茨城大好き！」計画」についても期待どおりの成果をあげており、引き続き、県広報誌やSNS等の媒体を活用した本県の魅力紹介を積極的に行い、県民の郷土愛の醸成に取り組んでいく。</p> <div data-bbox="347 533 1107 792" style="border: 1px solid orange; padding: 10px;"> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆本県情報のメディアへの掲載による広告換算額： 160億円【期待値：140億円】 ⇒ 指標評価 A ◆茨城県に「愛着を持つ」県民の割合： 78.9%【期待値：75.1%】 ⇒ 指標評価 A </div> <div data-bbox="1129 519 1481 712" style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right;">▲民放テレビ局における 茨城・笠間特集 (R4. 10)</p>
17 世界に飛躍する茨城へ	
 <p>順調である</p>	<p>☆「世界に広がるIBARAKIブランド」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、現地商社等における販売促進や海外ニーズを踏まえた商品改良・開発等の支援に集中的に取り組み、更なる海外販路開拓を図っていく。</p> <p>☆「世界に挑戦するベンチャー企業の創出（茨城シリコンバレー構想）」についても期待どおりの成果をあげており、引き続き、ベンチャー企業の創出や成長の好循環を生み出すビジネス環境（エコシステム）の構築を図っていく。</p> <div data-bbox="347 1164 1069 1447" style="border: 1px solid orange; padding: 10px;"> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆農林水産物及び工業製品等の輸出額： 256億円【期待値：137億円】 ⇒ 指標評価 A ◆ベンチャー企業が行った3億円/回以上の 資金調達件数（2017～22累計）： 17件【期待値：15件】 ⇒ 指標評価 A </div> <div data-bbox="1098 1160 1481 1384" style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right;">▲農産加工品等に係る 海外販路開拓の取組 (R4. 12)</p>
18 若者を惹きつけるまちづくり	
 <p>順調である</p>	<p>☆「若者に魅力ある働く場づくり」については期待どおりの成果をあげており、引き続き、大学や産業界と連携し、県内企業の魅力発信、特色あるインターシップ等に取り組む、UIJターンの促進を図っていく。</p> <p>☆「若者を呼び込む茨城づくり」についても期待どおりの成果をあげており、今後とも、移住検討者が地域と継続的なつながりを持つイベント等の実施を通じ、移住・二地域居住を推進していく。</p> <div data-bbox="347 1809 1069 2092" style="border: 1px solid orange; padding: 10px;"> <p>【主要指標等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆大学・高校卒業者の県内企業等への就職者数： 8,341人【期待値：8,350人】 ⇒ 指標評価 B ◆関係人口数（地域に関心を持ち、 多様に関わる「関係人口数」）（2018～22累計）： 6,154人【期待値：4,910人】 ⇒ 指標評価 A </div> <div data-bbox="1098 1774 1481 2033" style="text-align: right;">  </div> <p style="text-align: right;">▲関係人口創出の取組に係る 成果報告会の様子 (R5. 2)</p>

19 デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進



成果を
あげつつ
ある

☆「先端技術による社会変革やデータの活用の加速化」については概ね期待どおりの成果をあげており、今後とも急速に進展するデジタル技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、社会課題の解決につなげていく。

★「スマート自治体の実現に向けた取組の推進」については引き続き強力な取組が求められ、市町村における行政手続のオンライン化等を支援し、県民の利便性向上を図っていく。

【主要指標等】

- ◆スマート農業技術の導入を促進し、
販売金額1億円以上を達成した農業経営体数：
0.4千経営体【期待値：0.4千経営体】 ⇒ 指標評価 A
- ◆4億円以上の売上高達成を目指し、
スマート林業技術を導入した林業経営体数（2020～22累計）：
6経営体【期待値：5経営体】 ⇒ 指標評価 A
- ◆県土木部発注工事においてICTを活用した工事件数の割合：
71%【期待値：50%】 ⇒ 指標評価 A
- ◆オンラインで全ての行政手続ができる自治体数：
1団体【期待値：1団体】 ⇒ 指標評価 D

20 活力を生むインフラと住み続けたくなるまち



成果を
あげつつ
ある

☆「人にやさしい、魅力あるまちづくり」については概ね期待どおりの成果をあげており、引き続き、安全な歩行空間の確保等に取り組むとともに、「住みたい・住み続けたい」と思える、魅力あるまちづくりに取り組んでいく。

★「未来の交通ネットワークの整備」については引き続き強力な取組が求められ、本県の発展基盤である陸・海・空の広域交通ネットワークの形成・充実に取り組むとともに、港湾・空港の更なる利活用を推進していく。

【主要指標等】

- ◆県管理道路における通学路の歩道整備率：78.4%【期待値：78.7%】 ⇒ 指標評価 B
- ◆重要港湾（茨城港・鹿島港）のコンテナ取扱貨物量：
58,526TEU【期待値：70,500TEU】 ⇒ 指標評価 D

政策の進捗状況、施策及び主要指標の評価結果(2022年度)

I. 新しい豊かさ		No	指標名	単位	現状値		2022実績					目標値	
政策・施策の進捗状況	施策評価				2020	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2022指標評価	2025		
1 質の高い雇用の創出													
 順調である	4.0	(1) 成長分野等の企業の誘致											
		A	1	本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数	人	1,016 (2018~20累計)	—	406	—	340	119%	A	1,360 (2022~25累計)
			2	本社機能等の移転等を伴う新規立地件数	件	126 (2018~20累計)	—	43	—	40	107%	A	160 (2022~25累計)
			3	県の支援により進出した外資系企業数	件	15 (2016~20累計)	—	25 (2016~22累計)	—	25 (2016~22累計)	100%	A	42 (2016~25累計)
		(2) 新たな産業用地の確保及び企業立地の加速化											
		A	4	工場の立地件数	件	196 (2018~20累計)	1	60	—	55	109%	A	220 (2022~25累計)
5	新規開発による産業用地の面積		ha	0	—	60	—	60	100%	A	200 (2022~25累計)		
(3) 産業を支える人材の育成・確保													
A	6	基本情報技術者試験の茨城県合格者数	人	410	—	1,659 (2020~22累計)	10 (2020~22累計)	1,520 (2020~22累計)	112%	A	3,710 (2020~25累計)		
2 新産業育成と中小企業等の成長													
 順調である	4.0	(1) 先端技術を取り入れた新産業の育成と新しい産業集積づくり											
		A	7	ベンチャー企業が行った3億円/回以上の資金調達件数	件	8 (2017~20累計)	—	17 (2017~22累計)	—	15 (2017~22累計)	128%	A	30 (2017~25累計)
			8	製品・技術・サービスの創出件数	件	9 (2016~20平均)	—	16	—	12	133%	A	66 (2022~25累計)
		(2) 活力ある中小企業・小規模事業者の育成											
		A	9	県の支援により新製品等の開発や新ビジネスを創出した件数	件	34	—	41	—	37	110%	A	150 (2022~25累計)
10	県の支援による県内中小企業のM&Aマッチング件数		件	10 (2019~20累計)	—	11	—	9	122%	A	42 (2022~25累計)		
3 強い農林水産業													
 順調である	4.0	(1) 農林水産業の成長産業化と未来の担い手づくり											
		A	11	生産農業所得(販売農家1戸あたり)	万円	366	10	393 (2021)	10	390 (2021)	112%	A	600
			12	民有林における売上高4億円以上の経営体数	経営体	1	—	3 (見込値)	—	2	200%	A	4
			13	漁労収入1億円以上を達成した沿岸漁業経営体数	経営体	5	—	8	—	7	150%	A	12 (2020~25累計)
		(2) 県食材の国内外への販路拡大											
		A	14	県産農産物のうち重点品目の販売金額	億円	140	—	158	—	151	163%	A	168
(3) 農山漁村の活性化													
A	15	イノシシによる農作物被害金額	百万円	97 (2019)	31 (2019)	62.3 (2021)	23 (2021)	80.8 (2021)	214%	A	48		
4 ビジット茨城 ~新観光創生~													
 成果をあげつつある	2.5	(1) 稼げる観光地域の創出											
		A	16	観光消費額	億円	2,101	—	2,862 (見込値)	未公表	2,860	100%	A	4,000
		(2) インバウンドの取り込み											
		D	17	外国人延べ宿泊者数	人泊	52,520	37	55,400	26	106,000	5%	D	260,000
18	茨城空港の旅客数		千人	209	—	597	—	600	99%	B	850		
19	茨城港における外国クルーズ船の寄港回数		回	1 (2018~20累計)	—	0	—	4	0%	D	16 (2022~25累計)		
5 自然環境の保全・再生													
 順調である	3.5	(1) 湖沼の水質浄化と身近な自然環境の保全											
		B	20	湖沼に流入する汚濁負荷量(COD)	t/年	11,260	—	11,017	—	10,996	92%	B	10,717
					霞ヶ浦	9,094	—	8,898	—	8,873			
					濁沼	1,723	—	1,682	—	1,691			
					牛久沼	443	—	437	—	432			
(2) サステナブルな社会づくり													
A	21	再生可能エネルギーの導入率	%	25.0	—	28.0 (2021)	—	26.9 (2021)	157%	A	34		
	22	フードロス削減量	t	0	—	30	—	1.2	2500%	A	10 (2022~25累計)		

※ 2022年度の実績値は、概ね2023年7月末までに公表された数値を掲示

チャレンジ I 「政策」の進捗状況	施策評価結果(チャレンジ I)					主要指標評価結果(チャレンジ I)				
	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計
・「順調である」 : 4										
・「成果をあげつつある」 : 1	10	1	0	1	12	18	2	0	2	22
・「取組の強化が求められる」 : 0	(83.3%)	(8.3%)	(0.0%)	(8.3%)	(100.0%)	(81.8%)	(9.1%)	(0.0%)	(9.1%)	(100.0%)

II. 新しい安心安全		No	指標名	単位	現状値		2022実績					目標値	
政策・施策の進捗状況	施策評価				2020	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2022指標評価	2025		
6 県民の命を守る地域保健・医療・福祉													
成果をあげつつある	2.5	(1)医療・福祉人材確保対策											
		A	23	最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の必要医師数	人	2.2	—	7.2	—	7.5	94%	B	7.5 (2022)
			24	特定看護師数	人	96 (2019)	6 (10万人当たり)	252	—	170	210%	A	280
			25	介護職員数	人	42,001 (2019)	—	43,692 (2021)	—	44,483 (2021)	68%	C	49,020
		(2)地域における保健・医療・介護提供体制の充実											
		D	26	救急要請から医療機関への搬送までに要した時間	分	43.3 (2019)	42	44.9 (2021)	40	42.8	0%	D	全国平均以下
			27	訪問診療を実施している診療所・病院数	箇所	421	—	439	—	442	85%	B	475
		(3)精神保健対策・自殺対策											
		D	28	自殺者数（人口10万人あたり）	人	16.7 (2019)	18	16.9 (2021)	17	16.0 (2021)	0%	D	10.4
		(4)健康危機への対応力の強化											
A	29	業務継続計画（BCP）を整備している病院数（災害対応BCP）	箇所	100 (2021)	—	127	—	118	150%	A	174		
		業務継続計画（BCP）を整備している病院数（感染症対応BCP）		51 (2021)	—	70	—	81	63%	C	174		
7 健康長寿日本一													
成果をあげつつある	2.3	(1)人生百年時代を見据えた健康づくり											
		C	30	特定健康診査実施率	%	55.4 (2019)	19	49.9 (2020)	33	57.2 (2020)	0%	D	65.9
			31	地域ケア会議における困難事例の支援開始割合	%	94.4	—	96.7	—	96.6	104%	A	100
		(2)認知症対策の強化											
		A	32	認知症の人にやさしい事業所認定数	事業所	0	—	1,501	—	1,300	115%	A	5,000 (2022～25累計)
			33	認知症の人が交流できる場の数	箇所	126 (～2020累計)	—	156 (～2022累計)	—	145 (～2022累計)	157%	A	209 (～2025累計)
(3)がん対策													
D	34	がん検診受診率（市町村国保加入者に係るもの）	%	12.7	35	14.1 (2021)	33 (2021)	16.4 (2021)	37%	D	20		
8 障害のある人も暮らしやすい社会													
取組の強化が求められる	1.5	(1)障害者の自立と社会参加の促進											
		D	35	基幹相談支援センターの設置率	%	31.8	33	40.9	—	55.0	39%	D	100
		(2)障害者の就労機会の拡大											
		C	36	就労継続支援B型事業所における平均工賃（月額）	円	14,349	39	15,201 (2021)	38 (2021)	15,480 (2021)	75%	B	19,211
37	民間企業における障害者雇用率		%	2.19	31	2.20	40	2.22	50%	C	2.40		
9 安心して暮らせる社会													
成果をあげつつある	2.7	(1)地域の日常生活の維持確保とコミュニティ力の向上											
		A	38	コミュニティ交通の利用者数	万人	237	—	312	—	263	288%	A	312
			39	NPO法人等と企業が連携した地域貢献活動（事業）数	件	0	—	30	—	10	300%	A	40
			40	県内の地域活動団体数	件	252 (～2021累計)	—	281 (～2022累計)	—	275 (～2022累計)	126%	A	350 (～2025累計)
		(2)安心な暮らしの確保											
		D	41	食に対する不安を感じない県民の割合	%	55.4	—	53.9	—	55.0	0%	D	55以上
			42	水道普及率	%	94.9 (2019)	36	95.3 (推計値)	—	96.2	30%	D	98.3
			43	汚水処理人口普及率	%	86.0	31	87.4	—	87.9	72%	C	90.8
		(3)犯罪や交通事故の起きにくい社会づくり											
		B	44	不法投棄発生件数	件	197	—	84	—	150	240%	A	80以下
45	住んでいる地域の治安が良いと感じている県民の割合		%	44.3	—	36.0	—	46.6	0%	D	50.0		
46	交通事故死者数		人	84 (ワースト) 11	—	91 (ワースト) 9	—	78	0%	D	70		
10 災害・危機に強い県づくり													
成果をあげつつある	2.7	(1)災害・危機に備えた県土整備や危機管理体制の充実強化											
		B	47	災害ハザード内の自主防災組織の活動カバー率	%	83	—	90.1	—	92.0	78%	B	100
			48	機能別団員制度の導入市町村数	市町村	17	—	19	—	27	20%	D	44
			49	河川改修率	%	58.1	—	58.5	—	58.4	133%	A	58.9
			50	土砂災害防止施設の整備率	%	24.6	—	24.9	—	24.9	100%	A	25.4
		(2)原子力安全対策の徹底											
		D	51	原子力施設における事故・故障等の発生件数ゼロ（法令報告に該当するもの）	件	1	—	1	—	0	0%	D	0
		(3)健康危機への対応力の強化											
		A	52	業務継続計画（BCP）を整備している病院数（災害対応BCP・再掲）	箇所	100 (2021)	—	127	—	118	150%	A	174
				業務継続計画（BCP）を整備している病院数（感染症対応BCP・再掲）		51 (2021)	—	70	—	81	63%	C	174

※ 2022年度の実績値は、概ね2023年7月末までに公表された数値を掲示

チャレンジII「政策」の進捗状況	施策評価結果(チャレンジII)					主要指標評価結果(チャレンジII)					
	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計	
・「順調である」	0										
・「成果をあげつつある」	4	2	2	6	15	12	4	6	10	32	
・「取組の強化が求められる」	1	(33.3%)	(13.3%)	(13.3%)	(40.0%)	(100.0%)	(37.5%)	(12.5%)	(18.8%)	(31.3%)	(100.0%)

III. 新しい人財育成		No	指標名	単位	現状値		2022実績				目標値		
政策・施策の進捗状況	施策評価				2020	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2022指標評価	2025		
11 次世代を担う「人財」													
 順調である	4.0	(1)「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進											
		A	53	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる生徒の割合	%	78.6 [中3] (2019)	9	81.4	17	80.4	155%	A	83
		(2)新しい時代に求められる能力の育成											
		A	54	全国レベルの中高校生向けプログラミング・コンテストの入賞組数	組	1	17	7	6	3	300%	A	6
			55	IBARAKI ドリーム・パス事業への応募企画数	件	104	—	273	—	264	105%	A	528
	56	大学進学率	%	49.0 (2019)	17	52.8	17	49.4	950%	A	52.0		
(3)地域力を高める人財育成													
A	57	生涯学習ボランティア派遣人数	人	4,564	—	5,925	—	5,650	125%	A	6,760		
12 魅力ある教育環境													
 成果をあげつつある	2.5	(1)時代の変化に対応した学校づくり											
		B	58	児童生徒のICT活用を指導することが「できる」と答えた教員の割合（小中学校）	%	32.0	—	35.9	—	45.6	28%	D	100
				児童生徒のICT活用を指導することが「できる」と答えた教員の割合（高校）	%	24.5	—	27.9	—	39.6	22%	D	100
			59	大学が実施する特色ある教育カリキュラム数	件	0	—	3 (2021～22累計)	—	2 (2021～22累計)	150%	A	5 (2021～25累計)
		(2)次世代を担う「人財」の育成と自立を支える社会づくり											
C	60	障害児に対する個別の教育支援計画の作成率（幼児教育・保育施設）	%	63.2	—	74.7	—	73.8	108%	A	89.6		
	61	小中義務教育学校における不登校児童生徒が、学校内外の機関等での相談・指導等を受けている割合	%	59.5	—	61.1 (2021)	—	78.4 (2021)	8%	D	100		
13 日本一、子どもを産み育てやすい県													
 成果をあげつつある	2.7	(1)結婚・出産の希望がかなう社会づくり											
		B	62	妊娠・出産について満足している者の割合	%	84.4	26	86.7 (2021)	23	89.1 (2021)	48%	D	92.3
			63	県の結婚支援事業による成婚数	組	2,352 (2006～20累計)	—	2,631 (2006～22累計)	—	2,600 (2006～22累計)	112%	A	3,050 (2006～25累計)
		(2)安心して子どもを育てられる社会づくり											
		A	64	保育所等の待機児童数	人	193	34	8	18	0	95%	B	0
65	放課後児童クラブの実施箇所数		箇所	1,074	—	1,146	—	1,125	141%	A	1,156 (2024)		
(3)児童虐待対策の推進と困難を抱える子どもへの支援													
D	66	里親等委託率	%	17.4	37	20.3	—	26.0	33%	D	48.0		
14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城													
 順調である	4.0	(1)生涯にわたる学びと心豊かにする文化・芸術											
		A	67	県立図書館の利用者数	人	383,617 (2019)	—	443,815	—	431,569	125%	A	575,425
		(2)スポーツの振興と遊びのある生活スタイル											
A	68	全国高校総合体育大会等での優勝数	種目	3	25	8	26	7	125%	A	9		
	69	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	50.5	—	56.1	3	56.3	96%	B	65.0		
15 自分らしく輝ける社会													
 順調である	4.0	(1)多様性を認め合い、一人ひとりが尊重される社会づくり											
		A	70	多文化共生サポーターバンクへの新規登録者数	人	914 (2014～20累計)	—	1,121 (2014～22累計)	—	1,100 (2014～22累計)	111%	A	1,400 (2014～25累計)
			71	人権は大切であると感じている県民の割合	%	80.3	—	86.3	—	84.0	162%	A	90
		(2)女性が輝く社会の実現											
		A	72	政策方針決定過程に参画する女性の割合（県審議会等の女性委員の割合）	%	37.5	23	42.6	—	42.5	102%	A	50
(3)働きがいを実感できる環境の実現													
A	73	本県の1時間当たりの労働生産性	円	5,219	—	5,549 (2021)	—	5,323 (2021)	317%	A	5,740		
	74	県内企業の1か月当たり所定外労働時間数	時間	10.8	46	10.8	37	9.88	0%	D	8.5		

※ 2022年度の実績値は、概ね2023年7月末までに公表された数値を掲示

チャレンジⅢ「政策」の進捗状況	No	施策評価結果(チャレンジⅢ)					主要指標評価結果(チャレンジⅢ)				
		A	B	C	D	計	A	B	C	D	計
・「順調である」	3										
・「成果をあげつつある」	2	9	2	1	1	13	16	1	0	6	23
・「取組の強化が求められる」	0	(69.2%)	(15.4%)	(7.7%)	(7.7%)	(100.0%)	(69.6%)	(4.3%)	(0.0%)	(26.1%)	(100.0%)

IV. 新しい夢・希望		No	指標名	単位	現状値		2022実績					目標値	
政策・施策の進捗状況	施策評価				2020	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2022指標評価	2025		
16 魅力発信No.1プロジェクト													
政策評価	指標平均値	(1)「茨城の魅力」発信戦略											
		A	75	本県情報のメディアへの掲載による広告換算額	億円	101	—	160	—	140	151%	A	170
順調である	4.0		(2)県民総「茨城大好き！」計画										
		A	76	茨城県に「愛着を持つ」県民の割合	%	72.1	—	78.9	—	75.1	226%	A	80
17 世界に飛躍する茨城へ													
政策評価	指標平均値	(1)世界に広がるIBARAKIブランド											
		A	77	農林水産物及び工業製品等の輸出額	億円	103	—	256	—	137	450%	A	198
順調である	4.0	(2)世界に挑戦するベンチャー企業の創出(茨城シリコンバレー構想)											
		A	78	ベンチャー企業が行った3億円/回以上の資金調達件数(再掲)	件	8 (2017~20累計)	—	17 (2017~22累計)	—	15 (2017~22累計)	128%	A	30 (2017~25累計)
			79	宇宙関連サービスの提供又は宇宙機器・部品の納品による売上を得た宇宙ベンチャー・企業数	社	2	—	8 (2020~22累計)	—	6 (2020~22累計)	150%	A	12 (2020~25累計)
18 若者を惹きつけるまちづくり													
政策評価	指標平均値	(1)若者に魅力ある働く場づくり											
		A	80	大学・高校卒業者の県内企業等への就職者数	人	8,267	—	8,341	—	8,350	99%	B	33,900 (2022~25累計)
81	本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数(再掲)		人	1,016 (2018~20累計)	—	406	—	340	119%	A	1,360 (2022~25累計)		
82	本社機能等の移転等を伴う新規立地件数(再掲)		件	126 (2018~20累計)	—	43	—	40	107%	A	160 (2022~25累計)		
順調である	4.0	(2)若者を呼び込む茨城づくり											
		A	83	関係人口数(地域に関心を持ち、多様に関わる「関係人口数」)	人	2,780 (2018~20累計)	—	6,154 (2018~22累計)	—	4,910 (2018~22累計)	158%	A	8,510 (2018~25累計)
19 デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進													
政策評価	指標平均値	(1)先端技術による社会変革やデータの活用加速化											
		B	84	スマート農業技術の導入を促進し、販売金額1億円以上を達成した農業経営体数	千経営体	0.3	—	0.4 (推計値)	—	0.4	100%	A	0.5
85	4億円以上の売上高達成を目指し、スマート林業技術を導入した林業経営体数		経営体	1	—	6 (2020~22累計)	—	5 (2020~22累計)	125%	A	10 (2020~25累計)		
86	ICTを導入した養殖業経営体数		経営体	0	—	0	—	0	0%	D	3 (2022~25累計)		
87	県土木部発注工事においてICTを活用した工事件数の割合		%	13.6	—	71	—	50	157%	A	100		
88	製品・技術・サービスの創出件数(再掲)		件	9 (2016~20年平均)	—	16	—	12	133%	A	66 (2022~25累計)		
89	児童生徒のICT活用を指導することが「できる」と答えた教員の割合(小中学校・再掲)		%	32.0	—	35.9	—	45.6	28%	D	100		
89	児童生徒のICT活用を指導することが「できる」と答えた教員の割合(高校・再掲)			24.5	—	27.9	—	39.6	22%	D	100		
90	基本情報技術者試験の茨城県合格者数(再掲)	人	410	—	1,659 (2020~22累計)	10 (2020~22累計)	1,520 (2020~22累計)	112%	A	3,710 (2020~25累計)			
成果をあげつつある	2.0	(2)スマート自治体の実現に向けた取組の推進											
		D	91	オンラインで全ての行政手続ができる自治体数	団体	1	—	1 (見込値)	—	1	0%	D	45 (県内全自治体)
20 活力を生むインフラと住み続けたいまち													
政策評価	指標平均値	(1)未来の交通ネットワークの整備											
		D	92	県管理道路の改良率	%	77.1	22	77.6	21	78.3	41%	D	80.1
93	重要港湾(茨城港・鹿島港)のコンテナ取扱貨物量		TEU	66,496	—	58,526	—	70,500	0%	D	78,500		
94	茨城空港の旅客数(再掲)		千人	209	—	597	—	600	99%	B	850		
成果をあげつつある	2.0	(2)人にやさしい、魅力あるまちづくり											
		B	95	県管理道路における通学路の歩道整備率	%	77.6	—	78.4	—	78.7	76%	B	80.4

※ 2022年度の実績値は、概ね2023年7月末までに公表された数値を掲示

チャレンジIV「政策」の進捗状況	施策評価結果(チャレンジIV)					主要指標評価結果(チャレンジIV)					
・「順調である」	3	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計
・「成果をあげつつある」	2	6	2	0	2	10	13	3	0	6	22
・「取組の強化が求められる」	0	(60.0%)	(20.0%)	(0.0%)	(20.0%)	(100.0%)	(59.1%)	(13.6%)	(0.0%)	(27.3%)	(100.0%)

「政策」の進捗状況(合計)	施策評価結果(合計)					主要指標評価結果(合計)					
・「順調である」	10	A	B	C	D	計	A	B	C	D	計
・「成果をあげつつある」	9	30	7	3	10	50	58	11	6	24	99
・「取組の強化が求められる」	1	(60.0%)	(14.0%)	(6.0%)	(20.0%)	(100.0%)	(58.6%)	(11.1%)	(6.1%)	(24.2%)	(100.0%)

※ 主要指標は95指標であるが、「業務継続計画(BCP)を整備している病院数」(No.29/No.52)を災害対応BCPと感染症対応BCPの2区分で整理しており、また、「児童生徒のICT活用を指導することが『できる』と答えた教員の割合」(No.58/No.89)が小中学校・高校別の数値となっていることから、上記「『政策』の進捗状況(合計)」の表の「主要指標評価結果(合計)」の計が「99」となっている。